

第1回 夏休み魚の競り市場体験 報告

※ 実施日時：令和8年8月29日（土） 早朝 5時10分 集合

※ 実施場所：熊本地方卸売市場（通称 田崎市場）

・参考：公共性の高い卸売市場は大半が公設市場（開設・運営を公共機関で行う）ですが、この田崎市場は、「株式会社熊本地方卸売市場」という民間企業が開設・運営する数少ない「民営の地方卸売市場」です。

※ 参加人数：小学生19人、保護者13人 計32人 内新規会員（準会員）小学生10人、大人13人 計23人でした。

早朝5時10分まだ夜が明けていない中に集合、欠席者もなく全員参加、担当の方に注意事項等を聞き見学者用の帽子をかぶり、2班に分かれて出発。

最初に競り市場の中を体験する班と-22℃の冷凍庫を体験する班に分かれて、行動開始です。

競りは、5時30分から始まります。

競り場内に入ったときマグロの競りが始まったところでした、今日は10数匹いましたね。競りはマグロが終わると次は他の魚の競りに移動と次々に競りの場所が移動していきます。



魚介類は北海道から東北・関東・中国四国・九州と日本全国から入荷しています。子ども達も色々な種類の魚介類や生きたままの魚やイセエビなどを見て驚いていたようです。



競り市場の後は、 -22°C の大型冷凍庫見学です。担当者の方から説明を聞き、4階建ビルになっており4階に冷やすための大型機器を設置し、1階から3階までが冷凍庫になっています。冷凍庫内には国内だけでなく海外の冷凍食品が数千種類が保管されているそうです。



庫内は -22°C と寒いけど外が厚いせいもあり、子どもたちは2回、3回と冷凍庫内に入っていたようです。

市場と冷凍庫の体験後、大海水産さんの社屋にある会議室に移動して、子どもたちに大海水産さんから用意して下さったお弁当を美味しく食べていました。朝も早かったこともあり子どもたち完食していたようです。

食後は、「チョークアート」作成を楽しくやっています。チョークで魚の絵や海藻などいろいろと上手にかいていました。



絵を書き終えたところで、市場の仕事や大海水産さんの仕事などの勉強会を行いました。

一般の人もお魚を競りに出品することが出来るそうです。魚釣りに行って大量だった時に、その魚を市場に持ち込み「競りにかけてほしい」とお願いすれば競りにかけてくれるそうです。もちろんその売上金も受けとれるそうです。チョークアートの前で記念写真を撮り、出来た作品は大海水産に差し上げ掲示していただくことになりました。

